

投資者の皆様へ

2026年2月24日



商	号	SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者		関東財務局長(金商)第311号
加入協会		一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

**SBI オルタナティブ・ハインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)**  
**直近の米国クレジット市場について(続報)**

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

SBIオルタナティブ・ハインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)(以下「当ファンド」)は、プライベート・クレジットを中心にバンクローン等、米国および欧州のクレジット市場に投資を行っております。

先週末20日金曜日に、直近の米国クレジット市場に関しまして、コメントをお送りいたしました。連休中の米国市場においても、引き続き、センチメントの悪化が見られ、市場動向について、当ファンドおよびマザーファンドの運用にあたって投資助言を受けている「SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社」からのコメントを、当ファンドの投資先ファンドの運用会社からいただきましたコメントと併せてお知らせいたします。

23日の米国株式市場ですが、トランプ米国大統領の新関税引き上げ報道を受けまして、S&P500は、前日比71.76ポイント(▲1.04%)下げて、6,837.75ポイントとなっております。通商政策を巡る不透明感から、消費関連株を中心に幅広く売られており、とりわけテクノロジー株、金融株の下落が目立っております。ソフトウェア関連株をまとめた株指数:S&Pスーパーコンポジット・ソフトウェア・サービス株指数は、前日比202.77ポイント(▲4.35%)下げ、4,457.83ポイントとなっております。(参考チャート:下図)

20日のレポートにも記載いたしましたが、ソフトウェア関連ローン債権はレバレッジド・ローン市場の15%超を占めており、格付もB及びB-格に集中しています。これら低格付のソフトウェア企業へのエクスポージャーを多く持つバンクローンは特にパフォーマンスが悪化し、ソフトウェア・セクターへ資金提供を行っていると思われる大手投資会社の株価にも大きく影響を及ぼしております。

現在の大手投資会社に対する様々な報道、思惑につきまして、当ファンドが投資しております、上場投資信託(State Street®ブラックストーン・シニアローンETF:SRLN、KKR クレジット・インカム・ファンド)の運用会社である、ステートストリートおよびKKRから、クレジット市場への影響、見通しについて、以下のコメントを受け取っております。

**【ステートストリート】**

特定報道は、非上場ファンドの構造に基づく流動性管理に関する事象であり、市場全体の信用悪化を示すものではないと見ています。同じプライベート・クレジットでも、格付や構造により異なり、投資適格や資産裏付け型は相対的に安定しています。SRLNは流通市場で取引されるシニア担保ローン中心の構成で比較的高格付けかつ流動性の高い資産に分散投資しています。ローン市場について景気ファンダメンタルズも改善傾向で足元のデフォルト率も昨年と比較して低水準であり、広範な信用不安や市場への波及は限定的と見ております。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

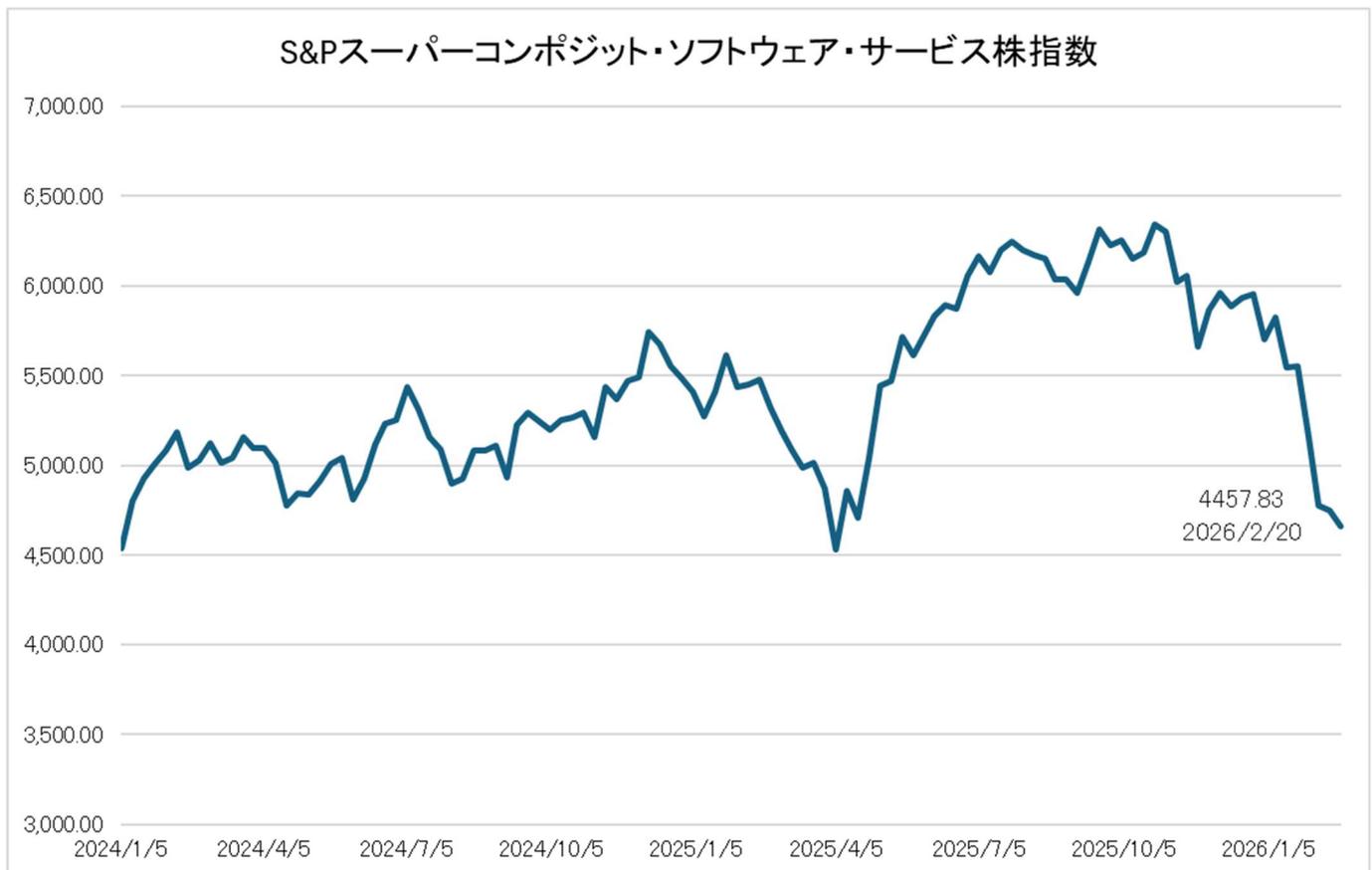
今後は、流動性要因による一時的な価格変動は残るものの、構造や信用力の違いがより明確に評価される局面になると見えています。懸念は一部の循環セクターに限定されており、現時点でシステミックな信用ストレスが拡大する兆しは確認されていません。中期的には、選別の進展と需給の安定を背景に、クレジット市場は底堅く推移すると考えております。

**【KKR】**

今回のBlue Owl社に関する報道は、同社のファンド構造と経営判断に起因するものであり、クレジット資産の質に関する問題ではございません。弊社の運用商品は、優れた運用実績、堅固なクレジット品質、十分な流動性により、引き続き良好なポジションを維持しております。今後につきましては、短期的には市場全体でボラティリティの上昇が予想されますが、弊社ファンドの基本的なファンダメンタルズは強固であり、投資家の皆様に引き続き安定的なリターンを提供できるものと確信しております。

上記の2社のコメントにもありますが、現在のソフトウェア関連銘柄株価下落に端を発した、大手投資会社への懸念、米国クレジット市場におけるバンクローン価格の下落は、セクター限定的な動きと捉えておりますが、各投資信託の資産の状況については、引き続き、注視してまいります。

以上



作成: SBIアセットマネジメント株式会社

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因や留意点としては以下のものがありますが、以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

### 主な変動要因

- バンクローンに関するリスク
- CLO(ローン担保証券)に関するリスク
- ダイレクトレンディング(ローン)に関するリスク
- ハイイールド社債に関するリスク
- ハイブリッド債に関するリスク
- レバレッジに関するリスク
- 金利変動に関するリスク
- 流動性リスク
- 為替変動リスク
- 信用リスク
- カントリーリスク

### その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になることが生じる可能性があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れETF(上場投資信託証券)に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

### (お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料: 購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。  
※詳細は販売会社にお問い合わせください。

### (途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額: ありません

### (保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年2月24日現在): 年1.5204%程度\* (年1.2904%~年1.9404%程度)  
※有価証券届出書提出時点で想定する投資配分を基に試算したもの  
※本ファンドにおいて成功報酬制はありません。

### ● その他の費用

ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用(法律顧問・税務顧問等への報酬を含む)、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。

\*これらの費用は監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。